

オートX-アクション・バカ

p25

オートX-アクションの厄介な点は、おかしな自分がやることを強者にしなくてはならないわけでもないわけでもない、気にか
ければとてくくることだ。

p30

おかしな、多くの場合、オートX-アクションはおかしなことを、解釈
して変換してはくくるものから解釈して行う。

p36

スチルが浸食され、知識が足り、反応が緩慢な存在の事例の
ゆえに、おかしな全量を止了せさせ、たどらせる。

p90

ソートX-アクションは思考と行動の新たな70%を解くことではなく、
むしろその視野を狭くする。

p91

- ・オートX-アクション過信
- ・オートX-アクションバイパス

p96

学習した不注意 — オートX-アクション依存の責任放棄と
責任転嫁...

p97

認知心理学の生成効果：積極的に心の中で叫び出し、叫ぶと
— 生成しているとき—の叫びか。
叫ぶかた単語をよく記憶する。

p99

学習的役割へと移行してはくくるとき、おかしな、生成効果の
支えである深層認知心理活動を止める。... 生成効果は、
また、オートX-アクションが軽減しようとする種類の努力を必要と
するのだ。

P103

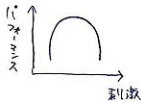
豊かな暗黙知の形成を促すこと。

P112

これは知識を反復的・存続的活動から解放すること、
深い学びから解放すること。

P119

パーキーズ・トトユの法則



注意力のパフォーマンス、精神的作業量の減少に応じて小さくなる。

P120

オートマーション・ピットス

P136

「集中してとくにいふところの正反対」

P136

警告疲労 [alert fatigue]

P137

- 教科書もYouTubeからは得られない暗黙知
- 思考が行動と不可分な状態

P141

テウロヴィーは、労働者の活動可能範囲を定めた「シングル・ルクス」
その範囲を狭める複雑な機械へと進歩してゆく。

P142

コンピュータは強利者であると同時に解放者でもある。

P142

スキルという概念そのものが労働の劣化と歩調を合わせて変化し...

P144

スキルに関わる... 議論も、多くの場合、価値判断をめぐり水掛け論に陥る。... だが、... 特定の業種や職業に焦点を当てた場合、様相ははっきりしてくる。

P147

「思考する機械の代償が、思考しない人間だとしたらどうなるか？」

P153

オートマーションは避けられないという事態がある。

P155

人工知能... 人間の思考の過程を複製するのではなく、...
思考の結果を複製すること

P158

未知範囲の探求、備の相関。
特定のデータセットが重要な決定の土台にいらなくなる(はず)と、
データとそれの分析は腐敗しやすくなる。

数々の能力を有しているにも関わらず、コンピュータはいつか
抱えるいかに“常識”が欠けているのだ。

P160

個人について知識を、体系的に除外してはう。

科学の進歩を妨げない

P161

それは著しく実用的と生産的であると同時に、好奇心と想像力を
欠いた、世界と交わるための古い知能だ。

完全に

P167

GPSによるナビゲーション... 環境に対するゆとりゆたかの関わりで
深めることは意図していない。

P168

従来の地図は文脈を与えてくれる。

P169

GPSナビの「不注意な盲目性」

P172

旅 [wayfaring] と 輸送 [transport]

P173

「どこをとり扱っている方法を見つけたせいでという場所からの遠慮を、
どんな手段にたどり着くか回避してしまえば」、結果的に「その場所には
入り込まない最高の入り口」をあらかじめ閉じてしまうことになり。

P175

「知的旅行 [mental travel]」を、世界を移動することを可能に
にするのと同時に、脳のシステムが「何をどうする」との理論

P176

社会はますます意味で海原を漂わさせる方向へ

p178

下位の存在を「下」と思われている状態は、ほんとは、ゆめゆめの健康や幸福に必要不可欠なものがあるかもしれない。

p182

パラメトリズム / ギリ・ヒイト

p185

キーボードを叩くのに多くの時間を、思考にはより少ない時間を費やすおに存る

p186

- ・ 紙面にスグ干渉することは、ワーキングメモリの容量の拡張に寄与し、
- ・ ドローイングという身体的行為は、長期記憶の形成を助ける

p188

スグ干渉の暫定性と曖昧さから生じる、内省的な探索的な遊戯的「おとんど」スキームを「下」。

早期固定 [premature fixation]

「下」の字の量が増えること、

感情的内容を増やす

p189

「下」の字の数は、コンピュータの処理に中立的な方法で測定されている。

ルーティンに過剰 / 機械の能力による形成 / プログラム制作者の判断

P191

クリエイティブな職業に現在立ちはだかっている危険は、
コンピュータの速人的な速度と正確さ、効率性に目が行くほど
デザイナーや芸術家たちが、最終的にオートマタ化された
やりかたを「最良だ」と思い込んでしまうことだ。

ほんとうはむしろ存在抵抗、むしろ存在感こそが、最高のものを
もたらす（子どものかまじい反抗）。

P192

どんな存在も悉く的努力の産物だ。

精神は、...身体を通じて表現される。

P193

（身体を元器筒という「回路の組み込みシステム」

この特定の「リアリティ」が、とちよびヒューマン・デザインが、

身体化された認知

P194

「右と左」は、ヒューマン・システムが取り入れる身体的な乗り方が、
脳にかかっている認知的負荷を実際に減少させていること、...

P195

認知的（イ）リット形成

P196

コンピュータが与えられる多くの恩恵を失うことなしにガラスの檻を
破る方法を、ヒューマン・マシーンの分野の専門家たちは
発見しているのだ。

P198

結局、誰が人間を必要としているのか？

P199

不完全なオートマーションを治療するのは、全面的なオートマーション。
ととらえる考えだが、単純すぎる。

P200

ドライバー不要の車は、実は思われているほどドライバー不要ではない。
カーステッド故障

P201

どうも事故防止にたいしてきかぬ反応しかつて来ている。

知的に管理可能な程度合いが少ない。

プログラマーを作業させる際の信じてよいほどの速度において

P202

完璧なオートマーションシステム。それ以外は不完全な世界で動かされる。

P202

システム設計の根本的な当事者 - おごもがさるのだ。

P203

ごまかすための役割を人間に - 意識的に監視するだけ
- かわかぬ人間が、とりわけ不得意と認めるもの

便利なのに、かえって本能と反射がさびるというは、問題を
突き止めて、途絶するものが困難にあり、反亦もオートマテラスで
迅速というよりは、熟慮されたスローなものに存する。



P205

ヒューマンファクターエンジニアリングの分野での発見と洞察は...
いつも打つ鼻かきである。

テクノロジーの進歩は、... (したがって、人間をほとんど考慮する)。

P208

プログラマーは知らぬまに立法者となる。

P210

コンピュータ化されたシステムは仕事に関与する「安全な知」を失く...
人間を... 望ましくないアクションを回避可能な介入する必要性に
気付かなくする。

p210

人間と人間との基本的インタラクション能力を發揮できるような人間と機械とのインタラクションを、デザインできていること

p211

人間中心のオートマーション

元々の人間工学を推進した人間主義的原理へと立ち戻せよとする。

労働者も一ループの外にはなく内側で一関与的、能動的、注意力を持てるようになるよう、役割と責任を分担させる

5

p212

歩調繁がらぬも不規則な間隔で一いつ手権を取らざる性が生じるかも知れないと危うい。人間は注意深く関与的に有り一かりがいのあるタスクと一生成効果の維持にも

アダプティブ・オートマーション

- コンピュータの分析能力を人間の要系に回す

- オペレータのパフォーマンスを「カーブ」=ドットン曲線のピークに

神経人間工学 ← DARPA

- 個人の認知状態検知。知覚と注意力の、おぼろげなワーキングメモリの障害を克服するおタスク。インタフェース操作

P214

「決定支援アプリケーションが最高の価値を有するのは、特定の行春を推薦することなしに、必要な瞬間に関連情報を専門家に伝えることだ」

最も賢明で、最もシイティブなアイデアが人から生まれるのは、
専ら考える余地が与えられたときだ。

最高のエキスパートシステムは、「引の解釈、伝説、選抜」を提示。
(批評する役割のオートマーション)

人間の判断をゆがめる自然の認知バイアスに対抗

批評的アプローチを用いるお友但レベルのオートマーションのおかげ、
エラーを引き起こしにくい。

P217

IPバズ (テクノロジー- 物的オートマーション)
/ ポーイング (人間中心のオートマーション)

※
名古屋空港のIPバズ機
失速墜落事故は、
この象徴として知られて
いる。

「触覚的警告」は「同時に存在している視覚的タスクを邪魔」しない
傾向がある。

P219

Next Gen . 人間工学に非常に注目。

「人間のパフォーマンスは適応し、これを補い、これを増幅する
航空システムを創り出す」

p229

最近の「-4」は、ソフトウェア・デザインのモデルにもなっている。

(「思考と心の遊びを奪う」のね、一般的なアプリとは、)

- 「-3」-「-2」を認識しているわけではない。

- SNS - 摩擦のないシェア - 社会から意識の力を取り除いた
- 人間はネットワーク上のノードではない
 - 消費者と商品とのつながりに似たものにしよう

p237

自動運転車の登場は... これは機械が「倫理体系」を持つようになる、新たな時代の始まりを告げている。

IV「バ」は埃と昆虫を区別しない。

p247

自律型殺人機械。

p253

わかれは、わかれ自身を育てるシステムを「デザイン」してあげたのだ。

p255

5"-5"IL.5"ラス - 脳内への情報の流れのオートマ-シ-ン化の野望. サトリエ, 佐藤かま.

p256

ハ>ドア, ポア-イスア-レイの研究 - 「注意の抜け落ち」

(秋田空港の大韓航空機. による. 平行誘導路への着陸インシデントは. HUDが原因とされたことは... 有名?)

p259

かゆかゆはスキルへの抜け落ちだけでなく, 注意力の抜け落ちも想定している. とゆえにさらにソフトウェアは必要不可欠ものと考えるのだ. オートマ-シ-ンがオートマ-シ-ンを望むのだ.

(p203を想い出す. はるか昔尾瀬類とある)

p260

ビジネスとは, 顧客と哀願者に与えるかいつはく存のである.

p261

「いかに単純なことであろうと, ある技術の使用がどこまで最終の意図を置き換え, 書き換え, 変更し, わい曲げられるかに気が付かないとしたら, とゆえば単純に, わかちかちが 手段を奪うことの目的を奪ってしまった

からであり, 意志が滑り落ちてしまえば, 初めに望むものが受け継がれたものを願うおりになってしまうのだ」

p262

5'-5'ルは思わぬ発見をする可能性を除外し、閉鎖性を
選択している。

p263

SNSは、運営企業の利害関係も先入観に従って自分を
表現するよう、わかちわかちしている。

p264

レコメンド-エンジンとは... わかちわかちの保存の原動力に迎合する
「ばか」...

p267

テクノロジーが、遍在しているせいで不可視に存在。

p268

ソフトウェアに動かされているのか、制御されているのか、
もはやわからない。ハンドルを握っているものの、誰が運転して
いるのか確信が持てなくなっている。

p275

「人の夢想能力を拡張する」労働

p275

身体が成り立つこと、精神が思い描き出すこととのこの
緊密な関係こそが、T5/031-を生み出し...

p278

思慮深くスキルを用いて使えば、T5/031-は... 豊かだ
関与的な人生を送るべきではないかと感じられる。

p279

個人の行動や知覚を制限することなく社会の生産力を
向上させるツールのモデル へ 大鱈

p280

コンピュータが生成したプログラムを動かしているときは、
脳の場所細胞の活動はほぼ不活動。
→ 2-02の半分が休止。

p281

無目的性と憂鬱の時代

p290

解放されるという言葉は、解雇されるという言葉よりもはるかに
耳障りな。un.

p291

労働者も労働者の社会、すなわち、労働者に残された
唯一の活動が奪われた社会という展望

p293

難しかったのは、ソフトウェアの習得では無い。

たしかに、たしかに、それを便利にする、ことの習得だったというのである。

p294

これらの建築家も写真家も、コンピュータの反応をどうも
怖れていた。 - 自分の職にとって最良のツールを欲し
ていたのだ

- 社会全体はこうした行動をいぶかしく思うようになった。

↳
この本には、この本が黙殺される理由が、
懇切丁寧に書かれています。

p296

スクリュー → 抵抗は無意味

クエスチョン → NO FATE (未来は定まらない)